(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2018-103360
(P2018-103360A)
(43)公開日　平成30年7月5日(2018.7.5)

(51)Int.Cl.		F I			テーマコード（参考）
B41J 3/36	(2006.01)	B41J	3/36	T	2C055
B41J 29/38	(2006.01)	B41J	29/38	Z	2C058
B41J 25/20	(2006.01)	B41J	25/20		2C061
B41J 11/70	(2006.01)	B41J	11/70		

審査請求 未請求　請求項の数 10　ＯＬ　（全 17 頁）

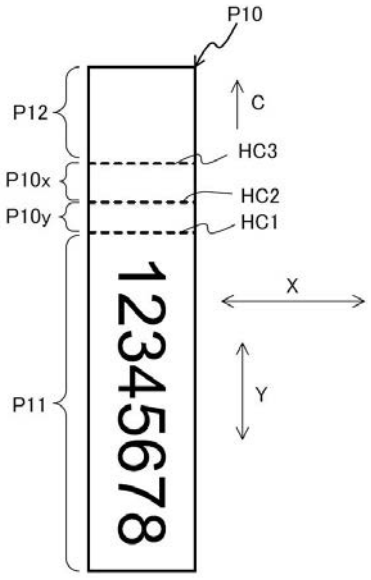
(21)出願番号　特願2016-248701 (P2016-248701)
(22)出願日　平成28年12月22日 (2016.12.22)

(71)出願人　000001443
カシオ計算機株式会社
東京都渋谷区本町１丁目６番２号
(74)代理人　100074099
弁理士　大菅　義之
(72)発明者　橋本　晃男
東京都羽村市栄町３丁目２番１号　カシオ計算機株式会社羽村技術センター内

Ｆターム(参考)　2C055 CC00 CC01 CC05
2C058 AB12 AC06 AD06 AE04 AE14 AF51 LA03 LA28 LB09 LB17 LC02
2C061 AP05 AQ04 AS06 AS08 HK11 HN15

(54)【発明の名称】印刷装置、印刷方法、及び、プログラム

(57)【要約】
【課題】印刷装置、印刷方法、及びプログラムにおいて、印刷物の余白部分を利用して、印刷物本体を貼り付け領域の所望の位置に容易に位置決めする。
【解決手段】印刷装置は、長尺状の被印刷媒体を搬送する搬送部と、前記被印刷媒体に印刷を行う印刷部と、前記被印刷媒体を切断することで、前記被印刷媒体から前記印刷が行われた印刷物Ｐ１０を切り離す切断部と、所定の印刷内容（数字「１２３４５６７８」）の前記印刷が行われる印刷物本体Ｐ１１と、当該印刷物本体を貼り付け領域に貼り付ける際に貼り付け領域に対する印刷物本体Ｐ１１の位置決めに使用することができる少なくとも１つの位置決め部材Ｐ１０ｘ，Ｐ１０ｙと、を印刷物Ｐ１０により形成するように各部の制御を行う制御部と、を備える。
【選択図】図９



【特許請求の範囲】
【請求項１】
長尺状の被印刷媒体を該被印刷媒体の長さ方向に搬送する搬送部と、
前記被印刷媒体に印刷を行う印刷部と、
前記被印刷媒体を切断する切断部と、
前記切断部により前記被印刷部材を切断させることにより、前記印刷部による前記印刷が行われた印刷物本体を貼り付け領域に貼り付ける際に前記貼り付け領域に対する前記印刷物本体の位置決めに使用することができる少なくとも１つの位置決め部材が形成されるように制御する制御部と、
を備えることを特徴とする印刷装置。
【請求項２】
前記被印刷媒体は、接着層を有する基材と前記接着層を覆うように剥離可能に前記基材に貼り付けられた剥離紙とを有し、
前記切断部は、前記被印刷媒体の前記基材及び前記剥離紙のうちの前記基材のみを切断するハーフカットを行うハーフカット部を有し、
前記制御部は、前記ハーフカットを行うことにより前記少なくとも１つの位置決め部材が形成されるように、前記ハーフカット部を制御する、
ことを特徴とする請求項１記載の印刷装置。
【請求項３】
前記貼り付け領域の、前記印刷物本体の前記長さ方向及び前記長さ方向に直交する幅方向の少なくとも一方に沿った寸法が入力される入力部を更に備え、
前記制御部は、前記貼り付け領域の前記寸法と前記印刷物本体の寸法とに基づき、前記少なくとも１つの位置決め部材の前記長さ方向に沿った長さを算出する、
ことを特徴とする請求項１又は２記載の印刷装置。
【請求項４】
前記貼り付け領域は、前記印刷物本体の前記長さ方向に沿った方向の第１の寸法と、前記印刷物本体の前記幅方向に沿った方向の第２の寸法と、を有し、
前記入力部には、前記貼り付け領域の前記第１の寸法及び前記第２の寸法が入力され、
前記制御部は、前記貼り付け領域の前記第１の寸法と前記印刷物本体の前記長さ方向における寸法とに基づき、前記少なくとも１つの位置決め部材の前記長さ方向の長さを算出するとともに、前記貼り付け領域の前記第２の寸法と前記印刷物本体の前記幅方向における寸法とに基づき、前記少なくとも１つの前記位置決め部材の前記幅方向の長さを算出する、
ことを特徴とする請求項３記載の印刷装置。
【請求項５】
前記制御部は、
２つの前記位置決め部材が前記印刷物により形成されるように前記搬送部、前記印刷部、及び前記切断部を制御し、前記２つの位置決め部材は、それぞれ、前記印刷物本体の前記貼り付け領域の前記長さ方向に対する位置決めと前記印刷物本体の前記貼り付け領域の前記幅方向に対する位置決めとに用いられるものであり、
前記印刷物の１つ前に作成される他の印刷物を前記切断部が切り離す前に、前記被印刷媒体のうち前記２つの位置決め部材が形成される予定の領域に、前記２つの位置決め部材のそれぞれが前記長さ方向に対する位置決め及び前記幅方向に対する位置決めのどちらに用いられるものであるかの情報を印刷するように、前記印刷部の制御を行う、
ことを特徴とする請求項４記載の印刷装置。
【請求項６】
前記制御部は、前記位置決め部材を予め定められた長さで複数形成するように制御することを特徴とする請求項１又は２記載の印刷装置。
【請求項７】
前記制御部は、前記印刷物の１つ前に作成される他の印刷物を前記切断部が切り離す前

に、前記印刷物の前記複数の位置決め部材が形成される予定の複数の箇所のそれぞれに前記印刷部により当該位置決め部材の寸法を印刷するように、前記印刷部の制御を行うことを特徴とする請求項６記載の印刷装置。
【請求項８】
前記制御部は、前記印刷物の１つ前に作成される他の印刷物を前記切断部が切り離す前に、前記印刷物のうち前記印刷物本体を除く部分に、物差しとして用いられるようにするための目盛りを前記印刷部により印刷することで前記位置決め部材を形成するように、前記印刷部の制御を行うことを特徴とする請求項１又は２記載の印刷装置。
【請求項９】
長尺状の被印刷媒体を該被印刷媒体の長さ方向に搬送する工程と、
前記被印刷媒体に印刷を行う工程と、
前記被印刷媒体を切断することにより、前記印刷が行われた印刷物本体を貼り付け領域に貼り付ける際に前記貼り付け領域に対する前記印刷物本体の位置決めに使用することができる少なくとも１つの位置決め部材を形成する工程と、
を含むことを特徴とする印刷方法。
【請求項１０】
印刷装置を制御するコンピュータにより実行されるプログラムであって、
前記印刷装置は、長尺状の被印刷媒体を該被印刷媒体の長さ方向に搬送する搬送部と、前記被印刷媒体に印刷を行う印刷部と、前記被印刷媒体を切断する切断部と、を備え、
前記コンピュータに、
前記切断部により前記被印刷部材を切断させることにより、前記印刷部による前記印刷が行われた印刷物本体を貼り付け領域に貼り付ける際に前記貼り付け領域に対する前記印刷物本体の位置決めに使用することができる少なくとも１つの位置決め部材が形成されるように制御させる機能を実現させる、
ことを特徴とするプログラム。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、長尺状の被印刷媒体に印刷を行う、印刷装置、印刷方法、及びプログラムに関する。
【背景技術】
【０００２】
従来、長尺状の被印刷媒体に対し、任意の文字、絵、図形等の印刷を行ってから長尺状の被印刷媒体を切断することでラベルを作成するラベルプリンタが知られている（例えば、特許文献１参照）。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００３】
【特許文献１】特開２００７－１７６０５２号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
上記のラベルプリンタ等の印刷装置では、被印刷媒体に印刷を行う印刷部と、被印刷媒体を切断する切断部との間に間隔があるため、印刷物には、所定の印刷内容の印刷が行われる印刷物本体とは別に、上記の間隔に起因する余白が生じる。なお、印刷物本体と余白とは、被印刷媒体を構成する基材及び剥離紙のうち基材のみをカットするハーフカットが行われることで区切られている。ユーザが印刷物本体を貼り付け領域に貼り付ける場合には、印刷物本体の基材から剥離紙を剥がしてから貼り付け領域に貼り付けることになる。
【０００５】
ところで、印刷物本体の寸法と貼り付け領域との寸法は通常一致しないため、印刷物本

体を貼り付け領域内の所定の位置に貼り付ける場合には、ユーザは、例えば、貼り付け領域の寸法、及び、印刷物作成後の印刷物本体の寸法を測定し、その測定結果に基づき印刷物本体を貼り付ける際の目印をユーザ自身で貼り付け領域につけて、その目印に合わせて印刷物本体を貼り付けるということが行われていた。このように、印刷物本体を貼り付け領域内の所望の位置に位置決めして貼り付けるためには手間のかかる作業が必要となっていた。

【０００６】

本発明の目的は、印刷物の余白部分を利用して、印刷物本体を貼り付け領域の所望の位置に容易に位置決めすることができる、印刷装置、印刷方法、及びプログラムを提供することである。

【課題を解決するための手段】

【０００７】

１つの態様では、印刷装置は、長尺状の被印刷媒体を該被印刷媒体の長さ方向に搬送する搬送部と、前記被印刷媒体に印刷を行う印刷部と、前記被印刷媒体を切断する切断部と、前記切断部により前記被印刷部材を切断させることにより、前記印刷部による前記印刷が行われた印刷物本体を貼り付け領域に貼り付ける際に前記貼り付け領域に対する前記印刷物本体の位置決めに使用することができる少なくとも１つの位置決め部材が形成されるように制御する制御部と、を備える。

【０００８】

他の１つの態様では、印刷方法は、長尺状の被印刷媒体を該被印刷媒体の長さ方向に搬送する工程と、前記被印刷媒体に印刷を行う工程と、前記被印刷媒体を切断することにより、前記印刷が行われた印刷物本体を貼り付け領域に貼り付ける際に前記貼り付け領域に対する前記印刷物本体の位置決めに使用することができる少なくとも１つの位置決め部材を形成する工程と、を含む。

【０００９】

他の１つの態様では、プログラムは、印刷装置を制御するコンピュータにより実行されるプログラムであって、前記印刷装置は、長尺状の被印刷媒体を該被印刷媒体の長さ方向に搬送する搬送部と、前記被印刷媒体に印刷を行う印刷部と、前記被印刷媒体を切断する切断部と、を備え、前記コンピュータに、前記切断部により前記被印刷部材を切断させることにより、前記印刷部による前記印刷が行われた印刷物本体を貼り付け領域に貼り付ける際に前記貼り付け領域に対する前記印刷物本体の位置決めに使用することができる少なくとも１つの位置決め部材が形成されるように制御させる機能を実現させる。

【発明の効果】

【００１０】

本発明によれば、印刷物の余白部分を利用して、印刷物本体を貼り付け領域の所望の位置に容易に位置決めすることができる。

【図面の簡単な説明】

【００１１】

【図１】一実施の形態に係る印刷装置を示す斜視図である。

【図２】一実施の形態に係る印刷装置に収納されるカセットを示す斜視図である。

【図３】一実施の形態に係る印刷装置のカセット収納部を示す斜視図である。

【図４】一実施の形態に係る印刷装置のカセット収納部を示す断面図である。

【図５】一実施の形態に係る印刷装置を示す制御ブロック図である。

【図６】一実施の形態における印刷物本体及び貼り付け領域の寸法を説明するための説明図である。

【図７】一実施の形態に係る印刷方法を説明するためのフローチャートである。

【図８】一実施の形態に係る印刷方法を説明するための説明図である。

【図９】一実施の形態における印刷物を示す図である。

【図１０Ａ】一実施の形態における印刷物本体の貼り付け領域に対する貼り付ける手順を説明するための説明図（その１）である。

【図１０Ｂ】一実施の形態における印刷物本体の貼り付け領域に対する貼り付ける手順を説明するための説明図（その２）である。
【図１０Ｃ】一実施の形態における印刷物本体の貼り付け領域に対する貼り付ける手順を説明するための説明図（その３）である。
【図１０Ｄ】一実施の形態における印刷物本体の貼り付け領域に対する貼り付ける手順を説明するための説明図（その４）である。
【図１１】一実施の形態の第１変形例における印刷物を示す図である。
【図１２】一実施の形態の第２変形例における印刷物を示す図である。
【図１３】一実施の形態の第３変形例における印刷物を示す図である。
【図１４】一実施の形態の第４変形例における印刷物を示す図である。
【発明を実施するための形態】
【００１２】
以下、本発明の実施の形態に係る印刷装置について、図面を参照しながら説明する。
図１は、一実施の形態に係る印刷装置１を示す斜視図である。
印刷装置１は、長尺状の被印刷媒体Ｍに印刷を行う装置であり、例えば、サーマルヘッドを備えるラベルプリンタである。以降では、インクリボンを使用する熱転写方式のラベルプリンタを例にして説明するが、印刷方式は特に限定されない。例えば、感熱紙に印刷を行う印刷装置であってもよいし、インクジェット印刷を行う印刷装置であってもよい。図２に示すように、被印刷媒体Ｍは、接着層を有する基材Ｍａと、接着層を覆うように剥離可能に基材Ｍａに貼付された剥離紙Ｍｂと、を有する例えばテープ部材である。
【００１３】
印刷装置１は、図１に示すように、開閉蓋１８及びカセット収納部１９を有する装置筐体２と、入力部３と、表示部４と、を備える。装置筐体２の上面には、入力部３、表示部４、及び開閉蓋１８が配置されている。また、図示しないが、装置筐体２には、電源コード接続端子、外部機器接続端子、記憶媒体挿入口等が設けられている。
【００１４】
入力部３は、入力キー、十字キー、変換キー、決定キーなどの種々のキーを備える。表示部４は、例えば液晶表示パネルであり、入力部３からの入力に対応する文字等、各種設定のための選択メニュー、各種処理に関するメッセージ等を表示する。また、印刷中には、被印刷媒体Ｍへの印刷が指示された文字や図形等の内容（以降、印刷内容と記す）が表示され、印刷処理の進捗状況が表示されてもよい。なお、表示部４にはタッチパネルユニットが設けられていてもよく、その場合、表示部４を入力部３の一部として看做してもよい。
【００１５】
開閉蓋１８は、カセット収納部１９の上部に設けられ、カセット収納部１９を開閉可能に覆う。開閉蓋１８は、ボタン１８ａを押下されることにより開放される。開閉蓋１８には、この開閉蓋１８が閉じた状態でもカセット収納部１９にカセット３０（図２参照）が収納されているか否かを目視で確認可能とするために、窓１８ｂが形成されている。また、装置筐体２の側面には、排出口２ａが形成されている。印刷装置１内で印刷が行われた被印刷媒体Ｍは、排出口２ａから装置外へ排出される。
【００１６】
図２は、印刷装置１に収納されるカセット３０を示す斜視図である。
図３は、印刷装置１のカセット収納部１９を示す斜視図である。
図４は、印刷装置１のカセット収納部１９を示す断面図である。
【００１７】
図２に示すカセット３０は、被印刷媒体Ｍを収容し、図３に示すカセット収納部１９に着脱自在に収納される。図４には、カセット３０がカセット収納部１９に収納された状態が示されている。カセット３０は、図２に示すように、サーマルヘッド被挿入部３６及び係合部３７が形成された、被印刷媒体Ｍ及びインクリボンＲを収容するカセットケース３１を有する。

【００１８】
さらに、カセットケース３１には、テープコア３２とインクリボン供給コア３４とインクリボン巻取りコア３５とが設けられている。被印刷媒体Ｍは、カセットケース３１内部のテープコア３２にロール状に巻かれている。また、熱転写用のインクリボンＲは、その先端がインクリボン巻取りコア３５に巻きつけられた状態で、カセットケース３１内部のインクリボン供給コア３４にロール状に巻かれている。
【００１９】
装置筐体２のカセット収納部１９には、図３に示すように、カセット３０を所定の位置に支持するための複数のカセット受け部２０が設けられている。また、カセット受け部２０には、被印刷媒体Ｍの幅を検出する幅検出機構の一例であるテープ幅検出スイッチ２４が設けられている。カセット収納部１９は、被印刷媒体Ｍの幅が異なる複数種類のカセット３０を選択的に収納可能であるため、テープ幅検出スイッチ２４は、カセット３０の形状（カセット３０に設けられた凹凸の形状）に基づいて、被印刷媒体Ｍの幅を検出し、検出された被印刷媒体Ｍの幅を示すセンサ信号を出力する。
【００２０】
カセット収納部１９には、さらに、被印刷媒体Ｍに印刷を行うサーマルヘッド１０と、被印刷媒体Ｍを所定の搬送方向Ｃに搬送するプラテンローラ２１と、テープコア係合軸２２と、インクリボン巻取り駆動軸２３と、が設けられている。なお、サーマルヘッド１０は、被印刷媒体Ｍに印刷を行う印刷部の一例である。また、プラテンローラ２１は、被印刷媒体Ｍを、この被印刷媒体Ｍの長さ方向（搬送方向Ｃ）に搬送する搬送部の一例である。
【００２１】
カセット３０がカセット収納部１９に収納された状態では、図４に示すように、カセットケース３１に設けられた係合部３７がカセット収納部１９に設けられたカセット受け部２０に支持されて、サーマルヘッド１０がカセットケース３１に形成されたサーマルヘッド被挿入部３６に挿入される。また、テープコア係合軸２２には、カセット３０のテープコア３２が係合し、さらに、インクリボン巻取り駆動軸２３には、インクリボン巻取りコア３５が係合する。
【００２２】
印刷装置１に印刷指示が入力されると、被印刷媒体Ｍは、プラテンローラ２１の回転によりテープコア３２から繰り出される。この際、インクリボン巻取り駆動軸２３がプラテンローラ２１に同調して回転することで、被印刷媒体Ｍとともにインクリボンがインクリボン供給コア３４から繰り出される。これにより、被印刷媒体Ｍとインクリボンとが重なった状態で搬送方向Ｃに搬送される。そして、サーマルヘッド１０とプラテンローラ２１との間を通過する際にインクリボンＲがサーマルヘッド１０によって加熱されることで、インクが被印刷媒体Ｍに転写され、印刷が行われる。
【００２３】
サーマルヘッド１０とプラテンローラ２１の間を通過した使用済みのインクリボンＲは、インクリボン巻取りコア３５に巻き取られる。一方、サーマルヘッド１０とプラテンローラ２１との間を通過した印刷済みの被印刷媒体Ｍは、後述するフルカット機構１６及びハーフカット機構１７で切断され、排出口２ａから排出される。
【００２４】
図５は、印刷装置１を示す制御ブロック図である。
印刷装置１は、上述の入力部３、表示部４、サーマルヘッド１０、フルカット機構（切断部）１６、ハーフカット機構（切断部）１７、プラテンローラ２１、及びテープ幅検出スイッチ２４に加えて、制御部５、ＲＯＭ（Read Only Memory）６、ＲＡＭ（Random Access Memory）７、表示部駆動回路８、ヘッド駆動回路９、搬送用モータ駆動回路１１、ステッピングモータ１２、カッターモータ駆動回路１４、及びカッターモータ１５を備える。なお、制御部５、ＲＯＭ６、及びＲＡＭ７は、印刷装置１のコンピュータを構成する。
【００２５】

制御部５は、例えばＣＰＵ（Central Processing Unit）などのプロセッサを含む。制御部５は、ＲＯＭ６に記憶されているプログラムをＲＡＭ７に展開し実行することで、印刷装置１の各部の動作を制御する。制御部５は、例えば、ヘッド駆動回路９を介してサーマルヘッド１０が有する発熱素子の通電を制御する。また、制御部５は、搬送用モータ駆動回路１１及びステッピングモータ１２を介してプラテンローラ２１を制御する。更には、制御部５は、カッターモータ駆動回路１４及びカッターモータ１５を介してフルカット機構１６及びハーフカット機構１７を制御する。

【００２６】

ＲＯＭ６は、例えばフラッシュメモリであり、被印刷媒体Ｍに印刷を行う印刷プログラム、及び印刷プログラムの実行に必要な各種データ（例えば、フォント等）を記憶する。また、ＲＯＭ６は、制御部５によって読取り可能なプログラムが記憶された記憶媒体としても機能する。

【００２７】

ＲＡＭ７は、印刷についての情報（以降、印刷情報と記す）を記憶する入力データメモリとして機能する。また、ＲＡＭ７は、印刷情報に基づいて生成される、被印刷媒体Ｍに形成すべき印刷内容を示すデータ（以降、印刷データと記す）を記憶する印刷データメモリとしても機能する。さらに、ＲＡＭ７は、印刷情報に基づいて生成される、表示用データを記憶する表示データメモリとしても機能する。なお、印刷装置１は、別体のコンピュータから印刷情報又は印刷データを受信してもよく、この場合の受信部は入力部と看做すことができる。

【００２８】

表示部駆動回路８は、ＲＡＭ７に記憶された表示用データに基づいて表示部４を制御する。表示部４は、表示部駆動回路８の制御下で、例えば、印刷処理の進捗状況が認識可能な態様で印刷内容を表示してもよい。

【００２９】

ヘッド駆動回路９は、ストローブ信号がＯＮである期間中に印刷内容に基づいてサーマルヘッド１０の複数の発熱素子への通電を行う。サーマルヘッド１０は、被印刷媒体Ｍの幅方向である主走査方向に配列された複数の発熱素子を有する。制御部５は、印刷データに応じてヘッド駆動回路９により選択的に発熱素子に通電を行う。これにより、サーマルヘッド１０は、制御部５から供給されたストローブ信号の通電期間に、発熱素子がインクリボンＲを加熱する熱転写によって被印刷媒体Ｍに１ラインずつ印刷を行う。

【００３０】

搬送用モータ駆動回路１１は、ステッピングモータ１２を駆動する。ステッピングモータ１２は、プラテンローラ２１を駆動する。プラテンローラ２１は、ステッピングモータ１２の動力によって回転して、被印刷媒体Ｍの長さ方向（副走査方向）に沿った搬送方向Ｃに被印刷媒体Ｍを搬送する。

【００３１】

カッターモータ駆動回路１４は、カッターモータ１５を駆動する。フルカット機構１６及びハーフカット機構１７は、カッターモータ１５の動力によって動作し、被印刷媒体Ｍをハーフカット又はフルカットする。フルカットとは、被印刷媒体Ｍの基材Ｍａ（図２参照）を剥離紙Ｍｂとともに幅方向に沿って切断する動作のことであり、ハーフカットは、基材Ｍａのみを幅方向に沿って切断する動作のことである。

【００３２】

図６は、印刷物本体Ｐ１１及び貼り付け領域Ａの寸法を説明するための説明図である。

図７は、本実施の形態に係る印刷方法を説明するためのフローチャートである。

図６に示す印刷物本体Ｐ１１は、上述のサーマルヘッド１０によって所定の印刷内容（例えば数字「１２３４５６７８」）の印刷が行われた例えばラベルであり、貼り付け領域Ａの中央に貼り付けられた状態である。詳しくは後述するが、図６に示すように印刷物本体Ｐ１１を貼り付け領域Ａの中央に貼り付けるために、図７のフローチャートの処理が行われることで印刷物Ｐ１０が作成された後、図１０Ａ～図１０Ｄの貼り付け手順で印刷物

本体Ｐ１１が貼り付け領域Ａに貼り付けられる。なお、印刷物本体Ｐ１１の貼り付け領域Ａに対する貼り付け位置は中央に限るものではなく任意であり、貼り付け領域Ａの中央でない位置に印刷物本体Ｐ１１を貼り付ける場合には、その位置に応じて、位置決めに用いられる後述するＸ方向位置決め部材Ｐ１０ｘやＹ方向位置決め部材Ｐ１０ｙの長さを決定すればよい。

【００３３】

まず、ユーザは、上述の被印刷媒体Ｍの幅方向に対応するＸ方向における貼り付け領域Ａの寸法（第２の寸法）Ｘ１、及び、被印刷媒体Ｍの長尺方向（長さ方向）に対応するＹ方向における貼り付け領域Ａの寸法（第１の寸法）Ｙ１を測定する。

【００３４】

そして、ユーザは、測定された貼り付け領域Ａの寸法Ｘ１，Ｙ１を図１及び図５に示す入力部３に入力する。これにより、入力部３は、貼り付け領域Ａの寸法Ｘ１，Ｙ１の設定を受け付ける（ステップＳ１，Ｓ２）。なお、貼り付け領域Ａの寸法Ｘ１，Ｙ１の設定は、例えば印刷内容を編集する印刷内容編集装置として機能する、印刷装置１とは別体のコンピュータから受信してもよく、この場合の受信部は入力部と看做すことができる。

【００３５】

制御部５は、上述の図３及び図５に示すテープ幅検出スイッチ２４から、検出されたテープ幅、すなわち被印刷媒体ＭのＸ方向の幅Ｘ２の情報を取得する（ステップＳ３）。ここで、制御部５は、印刷内容に基づき、印刷物本体Ｐ１１のＹ方向の長さＹ２の情報を、印刷を行う前から得ることができる。

【００３６】

次に、制御部５は、貼り付け領域Ａの寸法Ｘ１，Ｙ１、並びに、印刷物本体Ｐ１１の幅Ｘ２及び長さＹ２に基づき、上述の図３～図５及び図８に示すハーフカット機構１７によりハーフカットを行うハーフカット位置を算出する（ステップＳ４）。なお、被印刷媒体Ｍが基材Ｍａのみからなる場合には、算出されたハーフカット位置にハーフカットを行うのに代えて例えば直線の印刷を行うようにし、ユーザがこの直線部分をハサミで切り取るようにしてもよい。

【００３７】

図８及び図９に示すように印刷物Ｐ１０のうち印刷物本体Ｐ１１と他の部分とを区切る通常のハーフカット位置ＨＣ１は、印刷物本体Ｐ１１の印刷開始位置（数字「１」の印刷の開始位置）より少し前の位置（搬送方向Ｃに沿った先の位置）である。

次に、図９に示すＹ方向位置決め部材Ｐ１０ｙを形成するためのＹ方向位置決め用ハーフカット位置ＨＣ２の位置に関しては、制御部５は、図８に示すように上記の通常のハーフカット位置ＨＣ１から、搬送方向Ｃに沿って、「（Ｙ１－Ｙ２）／２」の長さだけ離れた位置として算出する。この長さ「（Ｙ１－Ｙ２）／２」は、後述する図１０Ｃに示すように、Ｙ方向において、印刷物本体Ｐ１１を貼り付け領域Ａの中心に貼り付けるための、印刷物本体Ｐ１１の長尺方向の一端と印刷物本体Ｐ１１の長尺方向の一端側の貼り付け領域ＡのＹ方向の一端との隙間の長さである。なお、Ｙ方向位置決め部材（第１の補助ラベル）Ｐ１０ｙは、印刷物本体Ｐ１１において、通常のハーフカット位置ＨＣ１を挟んで隣接する領域に位置する。

【００３８】

次に、図９に示すＸ方向位置決め部材Ｐ１０ｘを形成するためのＸ方向位置決め用ハーフカット位置ＨＣ３の位置に関しては、制御部５は、上記のＸ方向位置決め用ハーフカット位置ＨＣ２から、搬送方向Ｃに沿って、「（Ｘ１－Ｘ２）／２」の長さだけ離れた位置として算出する。この長さ「（Ｘ１－Ｘ２）／２」は、後述する図１０Ｃに示すように、Ｘ方向において、印刷物本体Ｐ１１を貼り付け領域Ａの中心に貼り付けるための、印刷物本体Ｐ１１の幅方向の一端と印刷物本体Ｐ１１の幅方向の一端側の貼り付け領域ＡのＸ方向の一端との隙間の長さである。なお、Ｘ方向位置決め部材（第２の補助ラベル）Ｐ１０ｘは、印刷物本体Ｐ１１において、Ｙ方向位置決め部材Ｐ１０ｙに対してＹ方向位置決め用ハーフカット位置ＨＣ２を挟んで隣接する領域に位置する。

【００３９】
図７のフローチャートに戻り、ハーフカット位置の算出処理（ステップＳ４）の後、制御部５は、印刷物本体Ｐ１１への印刷を開始するように、サーマルヘッド１１及びプラテンローラ２１を制御する（ステップＳ５）。
【００４０】
被印刷媒体Ｍが印刷時に搬送される過程で、制御部５は、図８に示す各ハーフカット位置がハーフカット機構１７に到達したかを判定する（ステップＳ６）。なお、図８において、被印刷媒体Ｍのうち、印刷済みの数字「１２」を除く印刷前の数字「３４５６７８」、及び、カット前である各ハーフカット位置及びフルカット位置を灰色で示す。
【００４１】
制御部５は、図８に示す各ハーフカット位置がハーフカット機構１７に到達したと判定すると（ステップＳ６：ＹＥＳ）、ハーフカット位置でハーフカットを行うようにハーフカット機構１７を制御する（ステップＳ７）。ハーフカット機構１７がハーフカットを行っている間には、制御部５は、プラテンローラ２１による被印刷媒体Ｍの搬送及びサーマルヘッド１０による被印刷媒体Ｍへの印刷を停止させる。
【００４２】
制御部５は、各ハーフカット位置がハーフカット機構１７に到達していないと判定した場合（ステップＳ６：ＮＯ）及びハーフカット処理（ステップＳ７）を行った場合、所定の印刷内容の印刷が終了したかを判定する（ステップＳ８）。制御部５は、所定の印刷内容の印刷が終了していないと判定した場合（ステップＳ８：ＮＯ）、印刷開始処理（ステップＳ５）から処理を再開する。一方、制御部５は、所定の印刷内容の印刷が終了したと判定した場合（ステップＳ８：ＹＥＳ）、図８に示すフルカット位置でフルカットを行うようにフルカット機構１６を制御する（ステップＳ９）。これにより、被印刷媒体Ｍから図９に示す印刷物Ｐ１０が切り離される。なお、印刷物Ｐ１０には、印刷物本体Ｐ１１とＹ方向位置決め部材Ｐ１０とＸ方向位置決め部材Ｐ１０ｘとを除く部分が、余剰部分Ｐ１２となる。この余剰部分Ｐ１２も隣接するＸ方向位置決め部材Ｐ１０ｘとの間にハーフカット部分ＨＣを隔てて位置する。なお、入力部に設定された貼り付け領域Ａの寸法が大きいために、印刷物Ｐ１０のうち印刷物本体Ｐ１１を除く余白部分にＹ方向位置決め部材Ｐ１０ｙ及びＸ方向位置決め部材Ｐ１０ｘを形成できない場合に、制御部５が、例えばサーマルヘッド１０による印刷位置をずらすなどして余白部分の長さを長くするようにしてもよい。
【００４３】
このように作成された印刷物Ｐ１０は、図１０Ａ～図１０Ｄに示す貼り付け対象Ｔの貼り付け領域Ａに対し、ユーザによって例えば以下の手順で貼り付けられる。なお、一例に過ぎないが、二点鎖線（想像線）で示す貼り付け対象Ｔは、書類を収容するファイルであり、実線で示す貼り付け領域Ａは、背ラベルが貼り付けられる領域である。
【００４４】
図１０Ａに示すように、ユーザは、まず、印刷物本体Ｐ１１を貼り付け領域ＡのＸ方向に位置決めするために、Ｘ方向位置決め部材Ｐ１０ｘを貼り付け領域Ａ内のＸ方向の一端に貼り付ける。この貼り付け時のＸ方向位置決め部材Ｐ１０ｘにおける向きは、図９に示す印刷物Ｐ１０のＹ方向を貼り付け領域ＡのＸ方向に一致させた向きである。
【００４５】
また、図１０Ｂに示すように、ユーザは、印刷物本体Ｐ１１を貼り付け領域ＡのＹ方向に位置決めするために、Ｙ方向位置決め部材Ｐ１０ｙを貼り付け領域Ａ内のＹ方向の一端に貼り付ける。この貼り付け時のＹ方向位置決め部材Ｐ１０ｙにおける向きは、図９に示す印刷物Ｐ１０のＹ方向を貼り付け領域ＡのＹ方向に一致させた向きである。
【００４６】
そして、図１０Ｃに示すように、ユーザは、印刷物本体Ｐ１１がＸ方向位置決め部材Ｐ１０ｘ及びＹ方向位置決め部材Ｐ１０ｙに隣接し、Ｘ方向位置決め部材Ｐ１０ｘ及びＹ方向位置決め部材Ｐ１０ｙと重ならないようにして、印刷物本体Ｐ１１を貼り付け領域Ａに

貼り付ける。

【００４７】

その後、図１０Ｄに示すように、ユーザは、Ｘ方向位置決め部材Ｐ１０ｘ及びＹ方向位置決め部材Ｐ１０ｙを貼り付け領域Ａから剥がす。以上により、印刷物本体Ｐ１１は、貼り付け領域ＡのＸ方向及びＹ方向の中央に貼り付けられる。

なお、上記の実施の形態においては、Ｘ方向位置決め部材Ｐ１０ｘとＹ方向位置決め部材Ｐ１０ｙとを形成するとしたが、Ｘ方向位置決め部材Ｐ１０ｘ及びＹ方向位置決め部材Ｐ１０ｙの何れか一方のみを形成する態様としてもよい。すなわち、例えば、貼り付けられた印刷物本体Ｐ１１のＹ方向の位置だけを所望の位置にすればよい場合には、Ｙ方向位置決め部材Ｐ１０ｙのみを形成すればよい。また、貼り付けられた印刷物本体Ｐ１１のＸ方向の位置だけを所望の位置にすればよい場合には、Ｘ方向位置決め部材Ｐ１０ｘのみを形成すればよい。また、Ｙ方向位置決め部材Ｐ１０ｙのみを形成する場合には、貼り付け領域Ａの寸法として、寸法Ｙ１のみを入力部３に入力するようにしてもよい。Ｘ方向位置決め部材Ｐ１０ｘのみを形成する場合には、貼り付け領域Ａの寸法として、寸法Ｘ１のみを入力部３に入力するようにしてもよい。

【００４８】

図１１及び図１２は、本実施の形態の第１及び第２変形例における印刷物Ｐ１０，Ｐ２０を示す図である。

ところで、上述の図９に示す印刷物Ｐ１０は、印刷物本体Ｐ１１以外の部分には印刷が行われていない。そのため、印刷物本体Ｐ１１とは反対側の端部に位置する余剰部分Ｐ１２についてはユーザが識別可能であったとしても、Ｘ方向位置決め部材Ｐ１０ｘ及びＹ方向位置決め部材Ｐ１０ｙは、どちらをＸ方向又はＹ方向の位置決めに用いるべきかをユーザが識別するのが困難な場合がある。なお、上述の表示部４が、Ｘ方向位置決め部材Ｐ１０ｘ及びＹ方向位置決め部材Ｐ１０ｙのそれぞれがＸ方向及びＹ方向のどちらの位置決めに用いられるかの情報（例えば、印刷物本体Ｐ１１に隣接するのがＹ方向位置決め部材Ｐ１０ｙであること）を表示してもよいが、以下の第１及び第２変形例では、Ｘ方向位置決め部材Ｐ１０ｘ及びＹ方向位置決め部材Ｐ１０ｙのそれぞれがＸ方向及びＹ方向のどちらの位置決めに用いられるかの情報をサーマルヘッド１０が印刷する例について説明する。

【００４９】

但し、Ｘ方向位置決め部材Ｐ１０ｘ及びＹ方向位置決め部材Ｐ１０ｙの長さの算出基準となる貼り付け領域Ａの寸法は、印刷物Ｐ１０の作成を開始する直前に設定されるのが通常である。そして、サーマルヘッド１０は、フルカット機構１６との位置関係上、印刷物Ｐ１０の作成開始時点以降では印刷物本体Ｐ１１以外の余白部分には印刷を行うことができない。そのため、当該印刷物Ｐ１０の１つ前に作成される印刷物をフルカット部１６が切り離す前に、Ｘ方向位置決め部材Ｐ１０ｘ及びＹ方向位置決め部材Ｐ１０ｙのそれぞれがＸ方向及びＹ方向のどちらの位置決めに用いられるかの情報を印刷することになる。

【００５０】

図１１に示す印刷物Ｐ２０の例では、印刷物本体Ｐ２１を除いた部分に亘って、すなわち、Ｙ方向位置決め部材Ｐ２０ｙ、Ｘ方向位置決め部材Ｐ２０ｘ、及び余剰部分Ｐ２２に亘って、余剰部分Ｐ２２側からＹ方向位置決め部材Ｐ１０ｙにかけてＸ方向の幅が拡がる三角形と、この三角形の幅に関する文字「幅狭側（Ｘ）」及び文字「幅広側（Ｙ）」と、を含む位置決め用印刷Ｌ２０が印刷されている。これによって、Ｘ方向位置決め部材Ｐ２０ｘの三角形のＸ方向の幅は、Ｙ方向位置決め部材Ｐ１０ｙの三角形のＸ方向の幅より狭くなる。このため、ユーザは、上記の位置決め用印刷Ｌ２０を見て、Ｘ方向位置決め部材Ｐ２０ｘ及びＹ方向位置決め部材Ｐ２０ｙのうち、三角形のＸ方向の幅が狭い方をＸ方向位置決め部材Ｐ２０ｘと認識して、これをＸ方向の位置決めに用い、三角形のＸ方向の幅が広い方をＹ方向位置決め部材Ｐ２０ｙと認識して、これをＹ方向の位置決めに用いるようにすることができる。なお、上述のように、印刷物本体Ｐ１１とは反対側の端部に常に余剰部分Ｐ１２を形成することで余剰部分Ｐ１２をユーザが識別可能としてもよいが、余剰部分Ｐ１２のうちＹ方向における印刷物本体Ｐ１１とは反対側の端部に「この部分は余

剰部分」或いは「こちら側の端部に位置するのは余剰部分」などの印刷をさらに行ってもよい。このことは、後述する図１２に示す余剰部分Ｐ３２に対しても同様である。

【００５１】

図１２に示す印刷物Ｐ３０の例では、印刷物本体Ｐ３１を除いた部分に亘って、すなわち、Ｙ方向位置決め部材Ｐ３０ｙ、Ｘ方向位置決め部材Ｐ３０ｘ、及び余剰部分Ｐ３２に亘って、文字「←Ｘ」及び文字「→Ｙ」を含む位置決め用印刷Ｌ３０が行われている。ユーザは、上記の位置決め用印刷Ｌ３０を見て、Ｘ方向位置決め部材Ｐ３０ｘ及びＹ方向位置決め部材Ｐ３０ｙを印刷物Ｐ３０から剥がして用いる前に、Ｘ方向位置決め部材Ｐ３０ｘ及びＹ方向位置決め部材Ｐ３０ｙのうち、「←」側（図１２における上側）に位置するＸ方向位置決め部材Ｐ３０ｘをｘ方向の位置決めに用い、「→」側（図１２における下側）に位置するＹ方向位置決め部材Ｐ３０ｙをＹ方向の位置決めに用いるべきことを認識することができる。

【００５２】

図１３は、本実施の形態の第３変形例における印刷物Ｐ４０を示す図である。

図１３に示す印刷物Ｐ４０の例では、上述のように貼り付け領域Ａの寸法Ｘ１，Ｙ１の設定を受け付けるのではなく、位置決め部材Ｐ４３～Ｐ４６が予め定められた長さで複数形成される。これらの位置決め部材Ｐ４３～Ｐ４６の間、位置決め部材Ｐ４３と印刷物本体Ｐ４１との間、及び、位置決め部材Ｐ４６と余剰部分Ｐ４２との間のそれぞれには、ハーフカット部分ＨＣが形成されている。なお、各位置決め部材Ｐ４３～Ｐ４６のＹ方向における長さは、例えば０．５ｃｍで一定であるが、一定でない長さが予め定められていてもよい。

【００５３】

また、印刷物Ｐ４０の各位置決め部材Ｐ４３～Ｐ４６及び余剰部分Ｐ４２に亘って、位置決め用印刷Ｌ４０が行われている。この位置決め用印刷Ｌ４０は、各位置決め部材Ｐ４３～Ｐ４６のそれぞれに位置する、各位置決め部材Ｐ４３～Ｐ４６の寸法であるＹ方向の長さ（例えば数字及び文字「０．５ｃｍ」）と、余剰部分Ｐ４２に位置する、余剰部分Ｐ４２であることを表す情報の一例である文字「余剰部分」と、を含む。位置決め用印刷Ｌ４０は、形成されるハーフカット部分ＨＣの位置や印刷物Ｐ４０のＸ方向及びＹ方向の寸法が予め判明しているため、当該印刷物Ｐ４０の１つ前に作成される印刷物をフルカット部１６が切り離す前に印刷することができる。

【００５４】

図１４は、本実施の形態の第４変形例における印刷物Ｐ５０を示す図である。

図１４に示す印刷物Ｐ５０の例においても、第３変形例と同様に貼り付け領域Ａの寸法Ｘ１，Ｙ１の設定は受け付けず、印刷物Ｐ５０のうち印刷物本体Ｐ５１を除く部分に、物差しとして用いられるようにするためのＹ方向の長さを表す目盛り（位置決め用印刷Ｌ５０）が印刷された位置決め部材Ｐ５２が形成されている。この目盛りは、例えば、０ｃｍ～２ｃｍの間を１ｍｍごとに区切ったものである。

【００５５】

位置決め用印刷Ｌ５０も、位置決め用印刷Ｌ４０と同様に、形成されるハーフカット部分ＨＣの位置や印刷物Ｐ５０のＸ方向及びＹ方向の寸法が予め判明しているため、当該印刷物Ｐ５０の１つ前に作成される印刷物をフルカット部１６が切り離す前に印刷することができる。

【００５６】

以上説明した本実施の形態では、印刷装置１は、搬送部の一例であるプラテンローラ２１と、印刷部の一例であるサーマルヘッド１０と、切断部の一例であるフルカット部１６と、制御部５と、を備える。プラテンローラ２１は、長尺状の被印刷媒体Ｍを、この被印刷媒体Ｍの長さ方向（搬送方向Ｃ）に搬送する。サーマルヘッド１０は、被印刷媒体Ｍに印刷を行う。フルカット部１６は、被印刷媒体Ｍを切断する。制御部５は、フルカット部１６により被印刷部材Ｍを切断させることにより、サーマルヘッド１０による印刷が行われた印刷物本体Ｐ１１を貼り付け領域Ａに貼り付ける際に貼り付け領域Ａに対する印刷物

本体Ｐ１１の位置決めに使用することができる少なくとも１つの位置決め部材Ｐ１０ｘ，Ｐ１０ｙが形成されるように制御する。

【００５７】

これにより、印刷物Ｐ１０のうち、サーマルヘッド１０とフルカット部１６との間に間隔があることに起因して印刷を行うことができない余白部分、すなわち、印刷物本体Ｐ１１以外の部分を用いて、印刷物本体Ｐ１１を貼り付け領域Ａに対して位置決めするための位置決め部材Ｐ１０ｘ，Ｐ１０ｙを形成することができる。よって、本実施の形態によれば、印刷物Ｐ１０の余白部分を利用して、印刷物本体Ｐ１１を貼り付け領域Ａの所望の位置に容易に位置決めすることができる。

【００５８】

また、本実施の形態では、被印刷媒体Ｍは、接着層を有する基材Ｍａと接着層を覆うように剥離可能に基材Ｍａに貼り付けられた剥離紙Ｍｂとを有する。切断部は、被印刷媒体Ｍの基材Ｍａ及び剥離紙Ｍｂのうちの基材Ｍａのみを切断するハーフカットを行うハーフカット部１７を有する。制御部５は、ハーフカットを行うことにより少なくとも１つの位置決め部材Ｐ１０ｘ，Ｐ１０ｙが形成されるように、ハーフカット部１７を制御する。これにより、位置決め部材Ｐ１０ｘ，Ｐ１０ｙごとにユーザが剥離紙Ｍｂを剥がすことができるため、より容易に、印刷物本体Ｐ１１を貼り付け領域Ａの所望の位置に位置決めすることができる。

【００５９】

また、本実施の形態では、印刷装置１は、貼り付け領域Ａの、印刷物本本体Ｐの長さ方向（Ｙ方向）及びこの長さ方向に直交する幅方向（Ｘ方向）の少なくとも一方に沿った寸法Ｘ１，Ｙ１が入力される入力部３を更に備える。制御部５は、貼り付け領域Ａの寸法Ｘ１，Ｙ１と印刷物本体の寸法Ｘ２，Ｙ２とに基づき少なくとも１つの位置決め部材Ｐ１０ｘ，Ｐ１０ｙの長さ方向Ｙに沿った長さ（例えば、「（Ｘ１－Ｘ２）／２」及び「（Ｙ１－Ｙ２）／２」）を算出する。これにより、貼り付け領域Ａ及び印刷物本体Ｐ１１の寸法に基づいて、より正確に、印刷物本体Ｐ１１を貼り付け領域Ａの所望の位置に位置決めすることができる。

【００６０】

また、本実施の形態では、貼り付け領域Ａは、印刷物本体Ｐ１１の長さ方向Ｙに沿った方向の第１の寸法Ｙ１と、印刷物本体Ｐ１１の幅方向Ｘに沿った方向の第２の寸法Ｘ１と、を有する。入力部３には、貼り付け領域Ａの第１の寸法Ｙ１及び第２の寸法Ｘ１が入力される。制御部５は、貼り付け領域Ａの第１の寸法Ｙ１と印刷物本体Ｐ１１の長さ方向Ｙにおける寸法Ｙ２とに基づき少なくとも１つの位置決め部材Ｐ１０ｘ，Ｐ１０ｙの長さ方向Ｙの長さ（例えば「（Ｙ１－Ｙ２）／２」）を算出する。また、制御部５は、設定された貼り付け領域Ａの第２の寸法Ｘ１と印刷物本体Ｐ１１の幅方向Ｘにおける寸法Ｘ２とに基づき他の１つの位置決め部材Ｐ１０ｘの幅方向Ｘの長さ（例えば「（Ｘ１－Ｘ２）／２」）を算出する。これにより、貼り付け領域Ａ及び印刷物本体Ｐ１１それぞれのＸ方向及びＹ方向の寸法に基づいて、より一層正確に、印刷物本体Ｐ１１を貼り付け領域Ａの所望の位置に位置決めすることができる。

【００６１】

また、本実施の形態の第１変形例（及び第２変形例）では、制御部５は、２つの位置決め部材Ｐ２０ｘ，Ｐ２０ｙが印刷物Ｐ２０により形成されるようにプラテンローラ２１、サーマルヘッド１０、及びフルカット部１６を制御し、２つの位置決め部材Ｐ２０ｘ，Ｐ２０ｙは、それぞれ、印刷物本体Ｐ２１の貼り付け領域Ａの長さ方向Ｙに対する位置決めと印刷物本体Ｐ２１の貼り付け領域Ａの幅方向Ｘに対する位置決めとに用いられるものであり、印刷物Ｐ２０の１つ前に作成される他の印刷物をフルカット部１６が切り離す前に、被印刷媒体Ｍのうち２つの位置決め部材Ｐ２０ｘ，Ｐ２０ｙが形成される予定の領域に、２つの位置決め部材Ｐ２０ｘ，Ｐ２０ｙのそれぞれが長さ方向Ｙに対する位置決め及び幅方向Ｘに対する位置決めのどちらに用いられるものであるかの情報（位置決め用印刷Ｌ２０）を印刷するように、サーマルヘッド１０の制御を行う。これにより、Ｘ方向及びＹ

方向の計２つの位置決め部材Ｐ２０ｘ，Ｐ２０ｙが位置決めに用いられる方向をユーザが容易に認識することができる。したがって、より容易に、印刷物本体Ｐ２１を貼り付け領域Ａの所望の位置に位置決めすることができる。

【００６２】

また、本実施の形態の第３変形例では、制御部５は、位置決め部材Ｐ４３～Ｐ４６を予め定められた長さで複数形成するように制御を行う。そのため、貼り付け領域Ａの寸法Ｘ１，Ｙ１が入力されない場合でも、各位置決め部材Ｐ４３～Ｐ４６を用いて印刷物本体Ｐ４１を貼り付け領域Ａの所望の位置に容易に位置決めすることができる。

【００６３】

また、本実施の形態の第３変形例では、制御部５は、印刷物Ｐ４０の１つ前に作成される他の印刷物をフルカット部１６が切り離す前に、印刷物Ｐ４０の複数の位置決め部材Ｐ４３～Ｐ４６が形成される予定の複数の箇所のそれぞれにサーマルヘッド１０により位置決め部材Ｐ４３～Ｐ４６の寸法（位置決め用印刷Ｌ４０）を印刷するように、サーマルヘッド１０の制御を行う。そのため、より容易に、各位置決め部材Ｐ４３～Ｐ４６を用いて印刷物本体Ｐ４１を貼り付け領域Ａの所望の位置に位置決めすることができる。

【００６４】

また、本実施の形態の第４変形例では、制御部５は、印刷物Ｐ５０の１つ前に作成される他の印刷物をフルカット部１６が切り離す前に、印刷物Ｐ５０のうち印刷物本体Ｐ５１を除く部分に、物差しとして用いられるようにするための目盛り（位置決め用印刷Ｌ５０）をサーマルヘッド１０により印刷することで位置決め部材Ｐ５２を形成するように、サーマルヘッド１０の制御を行う。そのため、ユーザは、位置決め部材Ｐ５２を物差しとして用いることで、容易に、印刷物本体Ｐ５１を貼り付け領域Ａの所望の位置に位置決めすることができる。

【００６５】

以上、本発明の一実施の形態を説明したが、本願発明は特許請求の範囲に記載された発明とその均等の範囲を含む。以下に、本願の出願当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。

【００６６】

［付記１］

長尺状の被印刷媒体を該被印刷媒体の長さ方向に搬送する搬送部と、

前記被印刷媒体に印刷を行う印刷部と、

前記被印刷媒体を切断する切断部と、

前記切断部により前記被印刷部材を切断させることにより、前記印刷部による前記印刷が行われた印刷物本体を貼り付け領域に貼り付ける際に前記貼り付け領域に対する前記印刷物本体の位置決めに使用することができる少なくとも１つの位置決め部材が形成されるように制御する制御部と、

を備えることを特徴とする印刷装置。

【００６７】

［付記２］

前記被印刷媒体は、接着層を有する基材と前記接着層を覆うように剥離可能に前記基材に貼り付けられた剥離紙とを有し、

前記切断部は、前記被印刷媒体の前記基材及び前記剥離紙のうちの前記基材のみを切断するハーフカットを行うハーフカット部を有し、

前記制御部は、前記ハーフカットを行うことにより前記少なくとも１つの位置決め部材が形成されるように、前記ハーフカット部を制御する、

ことを特徴とする付記１記載の印刷装置。

【００６８】

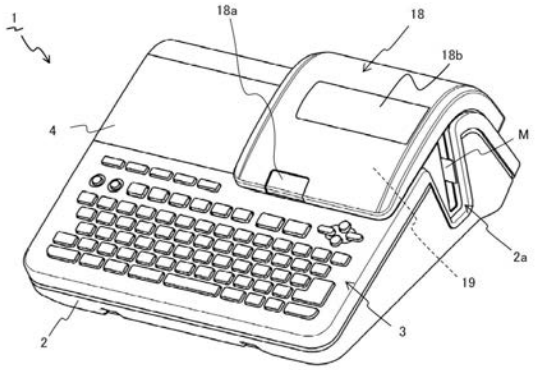
［付記３］

前記貼り付け領域の、前記印刷物本体の前記長さ方向及び前記長さ方向に直交する幅方向の少なくとも一方に沿った寸法が入力される入力部を更に備え、

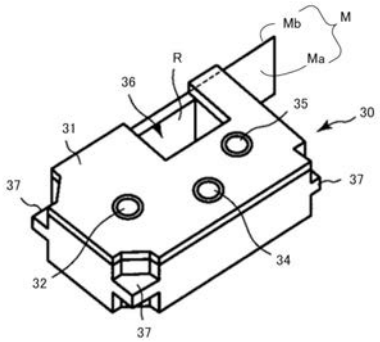
前記制御部は、前記貼り付け領域の前記寸法と前記印刷物本体の寸法とに基づき、前記少なくとも１つの位置決め部材の前記長さ方向に沿った長さを算出する、
ことを特徴とする付記１又は２記載の印刷装置。
【００６９】
［付記４］
前記貼り付け領域は、前記印刷物本体の前記長さ方向に沿った方向の第１の寸法と、前記印刷物本体の前記幅方向に沿った方向の第２の寸法と、を有し、
前記入力部には、前記貼り付け領域の前記第１の寸法及び前記第２の寸法が入力され、
前記制御部は、前記貼り付け領域の前記第１の寸法と前記印刷物本体の前記長さ方向における寸法とに基づき、前記少なくとも１つの位置決め部材の前記長さ方向の長さを算出するとともに、前記貼り付け領域の前記第２の寸法と前記印刷物本体の前記幅方向における寸法とに基づき、前記少なくとも１つの前記位置決め部材の前記幅方向の長さを算出する、
ことを特徴とする付記３記載の印刷装置。
【００７０】
［付記５］
前記制御部は、
２つの前記位置決め部材が前記印刷物により形成されるように前記搬送部、前記印刷部、及び前記切断部を制御し、前記２つの位置決め部材は、それぞれ、前記印刷物本体の前記貼り付け領域の前記長さ方向に対する位置決めと前記印刷物本体の前記貼り付け領域の前記幅方向に対する位置決めとに用いられるものであり、
前記印刷物の１つ前に作成される他の印刷物を前記切断部が切り離す前に、前記被印刷媒体のうち前記２つの位置決め部材が形成される予定の領域に、前記２つの位置決め部材のそれぞれが前記長さ方向に対する位置決め及び前記幅方向に対する位置決めのどちらに用いられるものであるかの情報を印刷するように、前記印刷部の制御を行う、
ことを特徴とする付記４記載の印刷装置。
【００７１】
［付記６］
前記制御部は、前記位置決め部材を予め定められた長さで複数形成するように制御することを特徴とする付記１又は２記載の印刷装置。
【００７２】
［付記７］
前記制御部は、前記印刷物の１つ前に作成される他の印刷物を前記切断部が切り離す前に、前記印刷物の前記複数の位置決め部材が形成される予定の複数の箇所のそれぞれに前記印刷部により当該位置決め部材の寸法を印刷するように、前記印刷部の制御を行うことを特徴とする付記６記載の印刷装置。
【００７３】
［付記８］
前記制御部は、前記印刷物の１つ前に作成される他の印刷物を前記切断部が切り離す前に、前記印刷物のうち前記印刷物本体を除く部分に、物差しとして用いられるようにするための目盛りを前記印刷部により印刷することで前記位置決め部材を形成するように、前記印刷部の制御を行うことを特徴とする付記１又は２記載の印刷装置。
【００７４】
［付記９］
長尺状の被印刷媒体を該被印刷媒体の長さ方向に搬送する工程と、
前記被印刷媒体に印刷を行う工程と、
前記被印刷媒体を切断することにより、前記印刷が行われた印刷物本体を貼り付け領域に貼り付ける際に前記貼り付け領域に対する前記印刷物本体の位置決めに使用することができる少なくとも１つの位置決め部材を形成する工程と、
を含むことを特徴とする印刷方法。

【００７５】
［付記１０］
印刷装置を制御するコンピュータにより実行されるプログラムであって、
前記印刷装置は、長尺状の被印刷媒体を該被印刷媒体の長さ方向に搬送する搬送部と、前記被印刷媒体に印刷を行う印刷部と、前記被印刷媒体を切断する切断部と、を備え、
前記コンピュータに、
前記切断部により前記被印刷部材を切断させることにより、前記印刷部による前記印刷が行われた印刷物本体を貼り付け領域に貼り付ける際に前記貼り付け領域に対する前記印刷物本体の位置決めに使用することができる少なくとも１つの位置決め部材が形成されるように制御させる機能を実現させる、
ことを特徴とするプログラム。
【符号の説明】
【００７６】
１・・・印刷装置、５・・・制御部、１０・・・サーマルヘッド、１６・・・フルカット機構、１７・・・ハーフカット機構、２１・・・プラテンローラ、２４・・・テープ幅検出スイッチ、Ａ・・・貼り付け領域、Ｍ・・・被印刷媒体、Ｐ１０・・・印刷物、Ｐ１０ｘ・・・Ｘ方向位置決め部材、Ｐ１０ｙ・・・Ｙ方向位置決め部材、Ｐ１１・・・印刷物本体、Ｐ１２・・・余剰部分、Ｔ・・・貼り付け対象

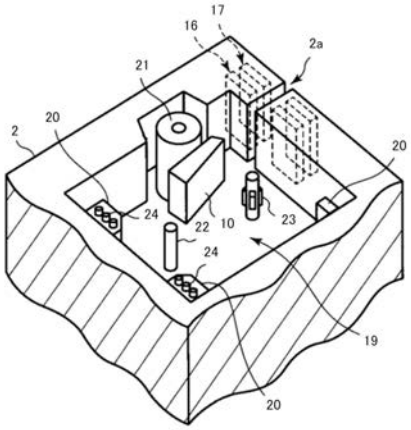
【図１】



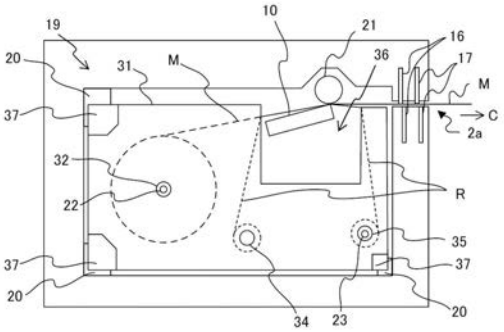
【図２】



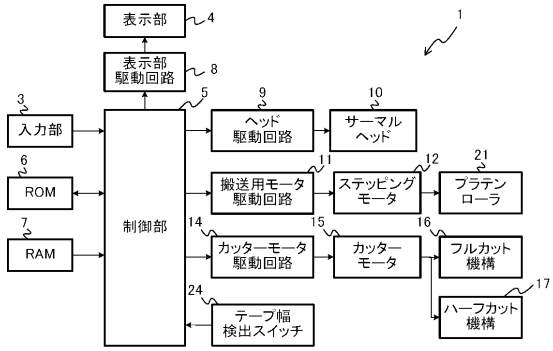
【図３】



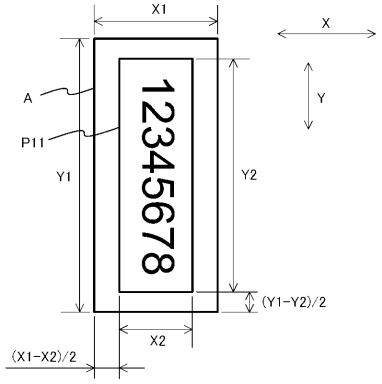
【図４】



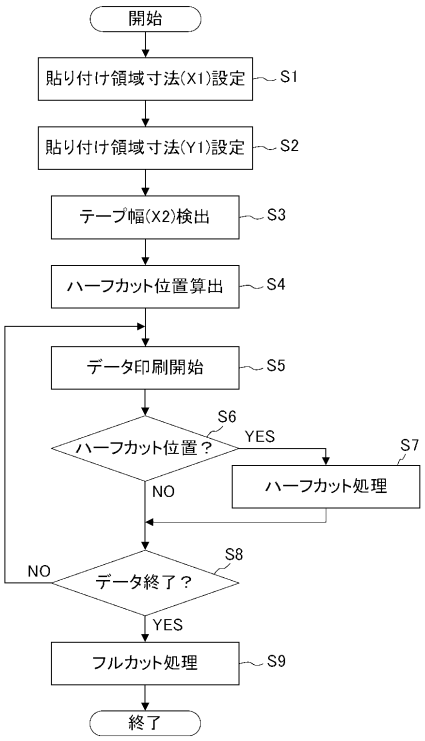
【図５】



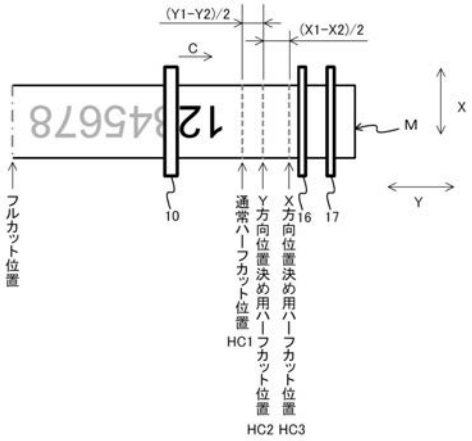
【図６】



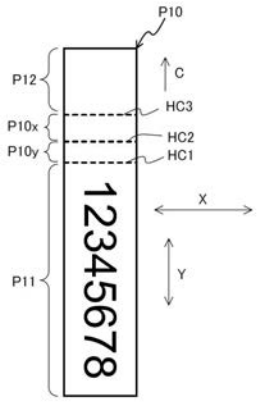
【図７】



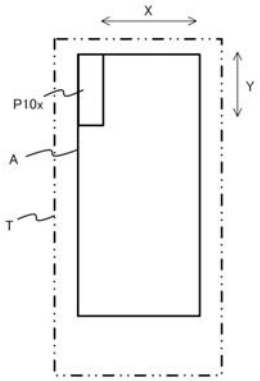
【図８】



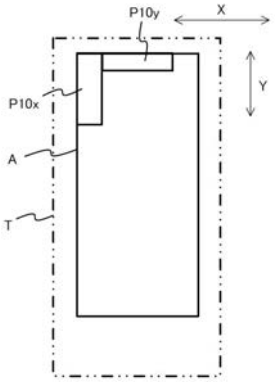
【図９】



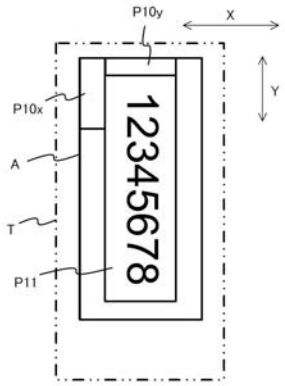
【図１０Ａ】



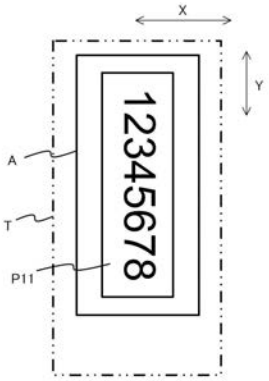
【図１０Ｂ】



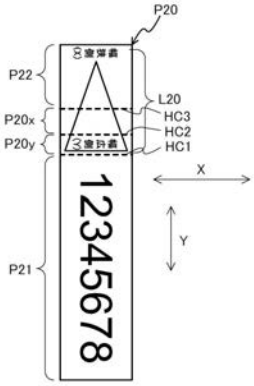
【図１０Ｃ】



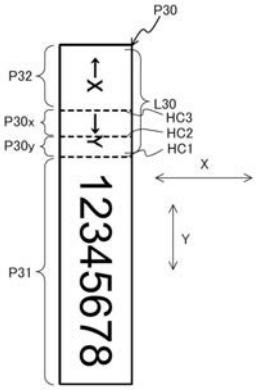
【図１０Ｄ】



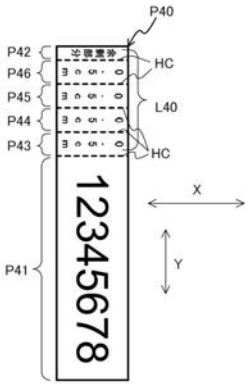
【図１１】



【図１２】



【図１３】



【図１４】

